

○宮古市の状況



- ◆2度の市町村合併（平成の大合併）
 - ・平成17年6月 宮古市、田老町、新里村
 - ・平成22年1月 宮古市、川井村
- ◆本州最東端に位置し、広大な面積を有するまち
 - ・面積：1,260平方km
 - ・県内最大、市としては東北で2番目、全国で8番目、岩手県総面積の8.2%
- ◆豊かな自然資源を有するまち
 - ・「陸中海岸国立公園」「早池峰国立公園」を合わせ自然資源が豊富



・人口	54,192人 ※H29.12現在
・外国人人口	191人 ※H29.12現在（0.35%）
・主な在留資格	技能実習：125人、永住者：30人、特別永住者：20人
・主な国籍	中国：74人、フィリピン：42人、ベトナム：34人、韓国・朝鮮：21人

○平成29年度の取組内容（実績）

・外国人の実態調査（ニーズ調査）

…9～10月：進め方・質問内容の整理、11～2月：調査・分析

①在住外国人へのインタビュー：11月～12月（10名）

- ・日本語を学ぶ機会があったら学びたいという声。

②技能実習生受入企業等へのインタビュー：12月、2月（14社、1監理団体）

※市役所担当課同行

- ・実習生自身があまり日本語学習を必要としていない様子。
教室開催について情報提供しても参加しないのではないかと？
→ただし、生活密着型であれば、テーマによっては、受講させたい。
- ・集合型より（企業への講師等）派遣型の方がよい。
- ・介護現場では、日本語教育の重要度が高まっている。
- ・情報共有、意見交換が重要。今後も継続。

③市役所へのインタビュー（アンケート調査）：10月開始～11月締切

- ・外国人が身近にいること、困っていることを理解していない。認識不足。
→外国人の意識とのギャップが大きい。

○平成29年度の取組内容（実績）

- 日本語教室「さくら」との連携

…見学、現状把握、意見交換、実践

- 協会の各事業を通じた在住外国人の把握、連携

- // 日本人の意識確認（人材発掘）

…4～3月：国際交流イベントや研修会の開催、多文化共生ラジオ

- 各イベント等へ参加・協力する外国人、日本人を把握し、ネットワークを形成
→ニーズ調査における対象者のリストアップ化、事業への協力者発掘

調査等を通じて…

- 優先順位が低くなり、教室に来なくなる。
- みんなで楽しく過ごすイベントは参加者が多い。
- “教える・教わる”より、“日本語に親しむ”“日本人と交流する”がよいのではないかと。

まずは、こんな教室を！

- ◆ 外国人と日本人が楽しみながら、一緒に、日本のことば・文化・伝統を学ぶ
- ◆ 上記のようなことを一緒に楽しんでくれる人と、一緒に取り組む



○平成29年度の取組内容（実績）

・交流サポーターの募集（声かけ）・顔合せの会

…事業への協力者→「交流サポーター」

2/13(火):日本語教室のイメージや交流サポーターの役割を共有、3/4(日)にほんご広場への参加依頼

・にほんご広場・災害時研修「にほんごでひなん」の開催

…日本語教室→「にほんご広場」

3/4(日):3.11東日本大震災から7年を前に、災害時の備え、よく使われる日本語について学習。参加者同士で意見交換→発表、情報共有。※講師に市役所担当課職員を招へい。



(庁内連絡会議(仮称)に係る市役所内部協議…3/8(木):連絡体制の必要性について共通認識、各課等が責任を持って取り組める体制づくりが必要→平成30年度中の設置に向けて、要検討)

○コーディネーターの主な活動

①ニーズ調査：14h

…在住外国人インタビュー対象者の現状把握、調査項目への助言、調査日程連絡調整、調査同行、調査結果共有

②体制整備のための調整：9h

…体制整備に係る助言等意見交換

③人材育成のための調整：5h

…交流サポーター検討に係る助言等意見交換、人材発掘（声かけ）、顔合せの会

④日本語教室開設に向けた調整：18.45h

…日本語教室「さくら」に係る情報共有、意見交換

にほんご広場（災害時研修「にほんごでひなん」）開催に向けた助言等意見交換、参加

○アドバイザーの主な活動・助言

①ニーズ調査に関する助言・同行

…“外国人のネットワークを知り、こういった生活スタイル化を把握することが重要”
※技能実習生受入企業・監理団体インタビュー同行

②インバウンドの取り組みと日本語教育（日本語教室）のつながりに関する助言

…“外国人にインバウンド対応で活躍してもらおう”
⇒そのために日本語を学ぶというストーリーの組み立て

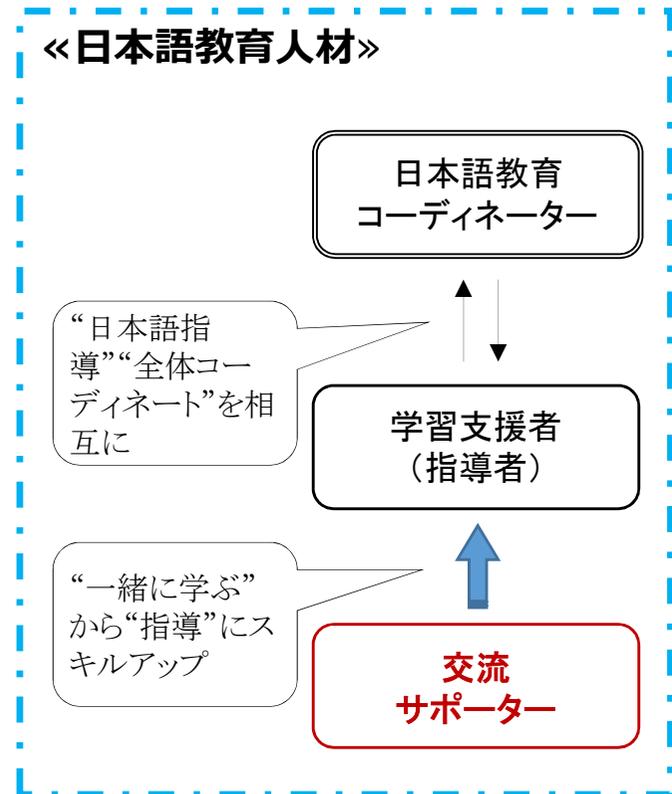
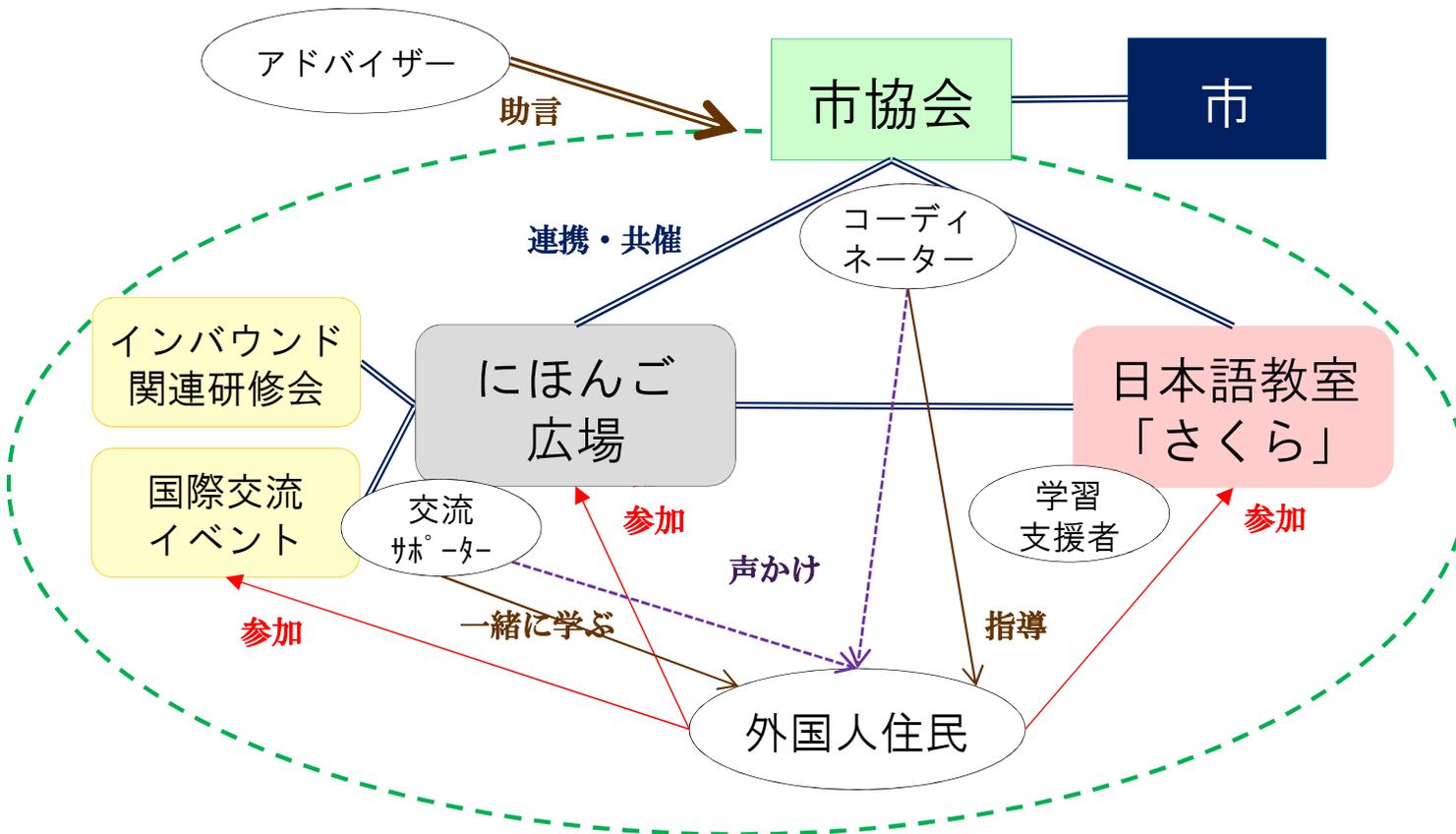
③国際交流イベントへの助言

…“外国人・日本人どちらにとっても多文化理解につながることを重要”

④日本語教室開設に関する助言

…“対象者と目的の整理が重要”
⇒生活密着型（テーマ別）日本語教室開催（講師として参加）

○実施体制図



○平成29年度の課題

①ニーズ調査

…インタビューしていない外国人がいること。
技能実習生は毎年入れ替わりがあること。

②体制整備のための調整

…H29に予定していた市役所内の体制整備（庁内連絡会議（仮称）設置）に至らなかったこと。

③人材育成のための調整

…交流サポーターの役割の明確化が弱かったこと。

④日本語教室開設に向けた調整

…「さくら」との連携が弱かったこと。

○平成30年度の予定

①ニーズ調査

…外国人インタビュー、技能実習生受入企業等インタビューの継続実施による現状把握・分析を行い、市協会とのネットワーク形成につなげる。

②関係機関との連絡調整

…市役所内の体制整備（庁内連絡会議（仮称）設置に向けた継続検討）を行う。

③交流サポーター

…人材発掘（声かけ）、にほんご広場開催にあたっての会議開催、サポーター同士のネットワーク形成を行う。

④日本語教室運営

…にほんご広場（年数回）の開催のほか、日本語教室「さくら」を市協会との連携・共催する。教室開催に係る費用等を検証し、予算確保を検討する。

- 実施団体名：宮古市国際交流協会
- 担当部署名：事務局